



首都直下地震等から住民の生命と財産を守る

方南1丁目地区を不燃化特区へ実現!

もしも、直下型地震が来たら、杉並区では木造密集地域の方南1丁目、阿佐ヶ谷、高円寺は火災危険度5と高く2万個を超える家屋が焼失することです。その悲劇をいかに抑えるか。最初の出火数37戸を、いかに食い止めるか。私は、木造建築物が多く災害時における建物の倒壊や火災の延焼により甚大な被害が想定される、方南1丁目こそ、不燃化特区の申請をすべきであるとを訴え続けてまいりました。

そして、その道筋を創るため、地域密着型集会を開催、防災まちづくり懇談会開催、内山方南東自治会長、服部方南西町会長、山崎方和自治会長の力強い協力体制のもと、方南1丁目の不燃化のまちづくりを推進させる大きな一歩とすることができました。

不燃化特区ってなに？

東京都が進める「木密地域不燃化10年プロジェクト」において、木造住宅密集地域のうち、特に改善を図るべき地区を指定し、防災まちづくりを早急に進める地区のこと。

「地域で出来る防災」を推進



地域密着型集会を開催すべきと、一般質問で求め方南・泉地域で実現! 神戸市消防署前副署長より阪神淡路大震災の話を伺うことが出来ました。(於:方南会館)／2013年2月

防災街づくり懇談会



木密地域第1回防災街づくり懇談会で、老築化が進み倒壊の恐れのある空き家対策の要望が出されました。／2014年2月

不燃化特区の指定により5つの支援が受けられます。

平成27年度から平成32年度までの6年間、杉並第六小学校周辺地区に準ずる予定です。



老朽化した建物の解体除去費用を助成します。
(助成限度額最大150万円)



老朽建築物除去後の土地・建て替え後の新建築物に関わる固定資産税・都市計画税の減免が受けられます。



老朽建築物の解体除去後の仮囲い設置費用を助成します。
(助成限度額最大5万円)



取り壊し・建て替え等に関して専門家に相談できます。



戸建建て替え費用を助成します。
(助成限度額最大100万円)



総合防災訓練／2014年8月30日



杉並区における新たな産後ケア事業がはじまります。

核家族化の増加や高齢出産に伴い、頼れるはずの親の不在や高齢地域との関係も薄れ、子育てに不安や孤立感を抱く母親が、少なくありません。私は、妊娠・出産期から産後までの切れ目のない一連の支援の取り組みの充実を訴えました。その結果27年度より杉並区における新たな産後ケアがはじまります。



1 母子ショートステイ 区内の医療機関等の空きベットを利用し宿泊により母子ケア、乳児ケア、育児指導、カウンセリングを実施

2 母子デイケア 日中(昼夜の食事付き)心身のケアや育児サポートを実施

3 母子訪問支援 既存の「要支援家庭育児支援ヘルパー事業」についてきめ細やかな支援を図るため訪問回数「産前産後計15回」から「産前5回、産後15回」に拡大
支援内容に「育児サポート」等追加 専門スタッフ(家事援助ヘルパー、専門相談員)の併用派遣

●対象者 妊娠、出産、産後に至るまでの相談支援を通して「継続的な支援が必要と認められる産後の母子」「特に必要と認められる妊婦」



「子ども・子育て支援新制度」が始まります。

すべての認可保育園は新制度の対象施設になります。主に0歳から2歳の乳幼児に対する保育事業として新たに地域型保育事業が創設されます。学童に関しては、対象児童が6年生まで拡大されます。

各機関への説明会が始まり、新制度への理解を深めました。また利用される保護者の皆様には、説明会を始め、保育コーディネーターが丁寧な説明をしております。尚、27年度4月より区内5か所の保健センター内に、保育の利用手続きを含む子育て利用相談(保育コーディネーター)情報提供を行う「(仮称)子供センター」が開設されます。



家庭福祉員の要望を子ども子育て部長に提出
2014年7月



アンネのバラ

横山が要望していたアンネのバラ植樹式が6月15日中央図書館中庭で開催された。小林桂三郎先生の著書の展示もされ、イスラエル大使、オランダ大使1等書記官、イスラム教団代表が来られ、イスラエル大使は式典のあいさつの冒頭で「田中区長、横山区議会議員、高井戸中学校長には大変お世話になりました」と、おっしゃって頂き、大変に喜ばれていることに再度平和社会の構築を決意いたしました。



アンネのバラ植樹式／2014年6月15日



田中区長に放送演劇で全国第3位の報告をする泉南中学放送演劇部／2014年9月

小林桂三郎先生の著書



アンネのバラサポーターの、西永福南口の和洋江戸屋のご夫妻



中央図書館アンネコーナー